

令和3（2021）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	新潟の歴史 (History of Niigata) 2013011-051					担当教員	遠山 典子 (トオヤマ ノリコ)		
科目区分	一般教養 科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	1年次	開講期	前期
科目特性	地域志向科目／課題解決型 AL								

① 授業のねらい・概要									
<p>近年、地域史の重要性が歴史学において提唱されている。本講義では、高校までの教科書的な中央の政治史を中心とした視点とは異なり、新潟県の風土や産業、人物などを取り上げ、新潟県がどのように形成され、どういう歴史を歩んできたかを考察する。テキストや資料だけでなく、プロジェクトでの画像の提示や、時にはビデオの視聴などを取り入れながら授業を進めたい。</p> <p>なお、単に講義を受講するだけでなく、自ら主体的に学ぶために、各回に学習課題を設定した。身近な歴史・生活文化を考察するために、課題は自己の出身地や生育歴に関するものを多く取り入れた。さらに、地域や県内の博物館、資料館、史跡などへ学生が直接足を運び、レポートを提出するフィールドワークの学習課題も設定している。</p> <p>なお、単位修得レポートは、各個人の興味・課題にもとづいた地域探訪の計画・事前資料の作成および実施とする。</p>									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
地域社会に貢献する姿勢／専門的知識・技能を活用する能力／情報収集・分析力									
③ 授業の進め方・指示事項									
<p>授業は、基本的には講義形式でおこなう。授業はあくまでも、学生の主体的な学びの導入であり、そこから興味を持ったテーマに関する各回の学習課題の作成・提出が重要である。評価は、課題と単位修得レポートの内容を中心に行う。</p>									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
他の地域志向科目と関連しているので、併修が望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
<p>(i) 講義の内容を理解し、主体的に新潟県の歴史について学んでいるか。</p> <p>(ii) 自己の興味を持った人物や事象について、調べまとめる。実際に現地へ出かけ見学・体験する。</p> <p>(iii) 自己のテーマに基づいた見学コースを作成し、実際に行ってみて良かった点や問題点などをあげ自己評価する。</p>									
⑥ テキスト（教科書）									
毎回の授業内容にそったレジュメ・資料等をテキストとして配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
<p>田中圭一他『新潟県の歴史（県史15）』山川出版社(2017) 第2版3刷</p> <p>『新・にいがた歴史紀行（全12巻）』新潟日報事業社(2004)</p>									

『新潟県の歴史散歩』山川出版社(2009)  
 伊藤義允『新潟 地理・地名・地図の謎』実業之日本社(2015)  
 伊藤 充『新潟県 県民性の歴史』(2018)『新潟県 県民性の人物史』(2019)新潟日報事業社  
 『図説 長岡開府四百年』いき出版(2018)

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法								
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合			35%	25%	10%	30%		100%
(i) 地域への理解・愛情をもって、主体的に資料や歴史遺産に接し学んでいるか。			10%	5%		15%		30%
(ii) 自己の興味・関心に基づいて課題やレポートのテーマを適切に設定し、構成しているか。			10%	10%		15%		35%
(iii) 課題やレポート作成に関して、対象者に自分の意図をうまく伝達できる文章等の表現力があるか。適切な自己評価ができるか。			15%	10%	10%			35%
フィードバックの方法	各回の授業で出された課題、単位修得レポートに対して講評する。							

⑨ 担当教員からのメッセージ (昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等)

この授業は新潟県の歴史全体を扱うが、教室だけの講義にとどまらず、個々の興味・関心に基づいて、積極的に地域の史跡や歴史遺産、博物館、資料館などに出かけたり、自分史を掘り起こしたりして、主体的に自らの体験に基づいた歴史を学んでほしい。なお、各回の学習課題や単位修得レポートの提出などかなりハードな学習が予想されるので、安易な気持ちではなく、しっかりとした覚悟を持って選択してほしい。各回の課題はメール提出。単位修得レポートは、発表時に直接提出してもらう予定である。

⑩ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間 (分)
1	新潟県の風土と特産物・伝統産業・食文化について	配布資料・ノート・筆記用具	自分の出身地の風土や特産物・伝統産業・食文化などテーマを決めてま

			とめる。[全課題、メールで提出]	
2	火焰土器の国一縄文時代	同上	県内の火焰(型)土器・縄文時代の展示がある博物館・資料館・史跡を見学し、その感想をまとめる。	180分
3	淳足柵・岩船柵と越後国・佐渡国の成立	同上	古代の越後国・佐渡国の成立過程とその性格についてまとめる。	60分
4	古代から中世にかけての歴史と史跡	同上	自分の出身地の地名の由来やその歴史をまとめる。	120分
5	越佐の伝説	同上	自分の故郷の伝説や伝承もしくは史跡を紹介する。	120分
6	中世の越後と上杉氏 —謙信・景勝、直江兼続など—	同上	興味をもった中世越後の人物や史跡、様々なエピソードなどについて調べる。	120分
7	江戸時代の越後 —長岡藩を中心に—	同上	自分の出身地や、興味を持った藩や地域について調べ、その感想をまとめる。	120分
8	越後の伝統産業 —織物と『北越雪譜』—	同上	県内の興味を持った伝統産業や文化人を取り上げ、調べる。	120分
9	越佐の学問 —長岡藩の医学と腑分(人体解剖)を中心に—	同上	自分の出身地もしくは興味をもった江戸時代の学問や学者について調べ、感想をまとめる。	120分
10	北越戊辰戦争 —長岡藩と河井継之助—	同上	自分の出身地や興味をもった地域や人物について幕末から明治維新期の歴史や生涯について調べる。	120分
11	「米百俵」と長岡の人材教育 単位修得レポートの説明	同上	自分が学んだ小学校の創立と歴史を調べ、まとめる。	120分
12	長岡の復興とランプ会 —三島億二郎や長岡の復興に尽くした人々—	同上	長岡もしくは自分の出身地もしくは興味のある地域で、明治の近代化に貢献した先人を調べる。	120分
13	◆新潟の近代産業 石油産業と令終会、悠久山公園の成立等について	同上	外部講師の講演を聞き、感想をまとめる。	60分
14	◆長岡空襲と花火(予定) —長岡空襲に関するビデオ上映—	同上	長岡や自分の出身地もしくは興味のある戦争関連の資料館・史跡を見学し、その感想をまとめる。	180分

15	単位修得レポートの発表と提出。	同上	自己評価の提出。	60分
----	-----------------	----	----------	-----

⑪ アクティブラーニングについて				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当授業では講義と各課題の提出を基本とし、知識定着・確認型 AL を行う。</li> <li>・単位修得レポートでは、地域探訪コースの作成および実施による課題解決型 AL を行う。</li> <li>・単位修得レポート及び2回（第2・14講義）の課題では、実際に博物館・資料館・史跡等を訪れる課題探求やフィールドワークによる課題解決型 AL を行う。</li> </ul>				

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目				
実務経験の概要				
<p>高等学校の教員として、地域の歴史や文化財に関連する教材をたびたび取り上げた。特に、「郷土再発見—郷土の再発見を通して自ら学ぶ心を育てる—」をテーマとして学校全体で郷土の歴史・文化財・伝統産業などを学んだ「いきいきスクールプロジェクト」では企画・運営を担当した。また、日本史 A 教科書の付属 CD-ROM として「地域学習の手引き（新潟県編）」を作成した。</p> <p>新潟県立歴史博物館では、教員籍の主任研究員として、広報と団体案内、体験学習の指導を行い、研究活動では福武学術文化振興財団の「次世代歴史・地理教育支援助成」も受賞した。</p> <p>また、長岡市のまちづくり市民研究所の研究員・平成国漢学校の塾生として「米百俵」の見直しや伝承・実践プログラム作りに取り組み、長岡開府四百年事業で「花開け、私の米百俵」の発表、『図説長岡開府四百年』では、「米百俵と長岡の人材教育」「小林虎三郎」「長岡藩の人体解剖」を著述した。河井継之助記念館の学芸員としての活動も行った。</p>				
実務経験と授業科目との関連性				
<p>長年、新潟県を中心とした地域史の研究活動と教育・普及活動を行ってきた。関連の著作もいくつかある。特に、高校の教員としての経験から、地域の歴史・文化・伝統産業の重要性や地域史を学ぶ意義と楽しさを学生に伝え、地元の資料を教材化して授業に構成することに取り組みたい。また、博物館勤務や「地域学習の手引き（新潟県編）」の作成の経験から、新潟県全体の歴史や文化の研究活動の成果を解りやすく伝えたい。定年退職後は、長岡郷土史研究会の幹事や河井継之助記念館の学芸員として地元の歴史を解りやすく青少年や一般の人々に伝える活動にも携わっている。</p>				